様式2

都市再生整備計画　事後評価シート

長井駅前地区

令和7年3月

山形県長井市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	山形県	市町村名	長井市	地区名	長井駅前地区		面積	56.3ha
交付期間	平成31年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和6年度	交付対象事業費	7,433.9（百万円）	国費率	0.5	

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路　道路整備（市道　本町西1号線 139m、長井駅前線 168m、西裏線 332m、本町東線 310m）、公開空地（都市計画道路　糀町成田線　沿道 540㎡）、情報板 14基、緑化施設等　街路灯（市道　本町西1号線 3基、都市計画道路　糀町成田線 32基）、子育て世代活動支援センター（複合施設）11,669.1㎡、医療施設（病院）4,293㎡、教育文化施設（図書館　複合施設）11,664.3㎡
	提案事業	事業効果分析調査、西裏線利用促進活用調査、賑わい創出事業（社会実験）

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	案内標識（県道　長井停車場線外 4基）	道路事業から地域生活基盤施設事業（情報板）に振り替え	目標・数値指標への影響はなし
	提案事業	なし	－	－
新たに追加した事業	基幹事業	①多目的広場 2,790.83㎡、②歩行者支援施設（融雪装置）76.1㎡、③テレワーク拠点施設（複合施設）253.68㎡、④社会福祉施設（すみれ学園　複合施設）1,196.56㎡	①まちなかに新たな賑わいづくりの場を創出するため事業を追加、②複合施設の利便性の向上を図るため事業を追加、③,④障害児、健常児に関わらずあらゆる世代が交流できる場を提供するため事業を追加	①,③,④まちなかの賑わいを促すものとなるため、中心市街地における歩行者通行量の数値目標を上方修正、②目標・数値指標への影響はなし
	提案事業	なし	－	－

交付期間の変更	当　初	平成31年度～令和5年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	－
	変　更	－		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	子育て世代活動支援センター年間利用者数	人/年	7,550	H29	34,730	R5		189,203	○	あり		市内だけでなく市外からの利用者が想定以上に多く大幅な増加となった。	
										なし			
指標2	図書館年間入館者数	人/年	41,034	H29	73,861	R5		172,229	○	あり		親子連れも図書に触れる機会が多くなり利用者の増加につながった。	
										なし			
指標3	病院患者の年間紹介率	%	30.9	H29	36.7	R5		34.7	△	あり	●	地域の医院や介護事業との連携が強化され紹介率が増えた。	令和7年6月
										なし			
指標4	中心市街地における歩行者通行量（休日）	人/日	190.0	H29	437.0	R5		316.0	×	あり			令和7年4月
										なし	●		
指標5	公共交通（鉄道及びバス）利用者数	人/日	（鉄道）1,037.8 （バス）96.2	H29	（鉄道）976.4 （バス）90.2	R5		（鉄道）1,222.3 （バス）115.6	○	あり		長井駅周辺施設での定期的なイベントの開催などにより想定以上に利用者が増えた。	
										なし			

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	要介護（要支援）認定者数	人	1,619	H29				1,577			病院を中心とした介護予防等の取り組みにより要介護（要支援）認定者数が減少している。	
その他の数値指標2	中心市街地の現状への満足度：中心市街地に住んでみたい（住み続けたい）と思う人の割合	%	23.1	H30				27.6			中心市街地の活性化や安心して住み続けられる医療施設の改善が図られ中心市街地に対する満足度が増えている。	

4）定性的な効果発現状況

・市の重要事業の推進に向け、テーマごとに市職員と市民の協働によるプロジェクトが立ち上がり、市民参加型のまちづくりが進んでいる。
・「マイロードサポート事業」として国道や県道の清掃作業、植栽（花のまちづくり推進事業）に取り組む住民や団体が増えている。
・中心市街地の空き店舗等を活用して新たな事業を取り組む事業主が増えている。
・中心市街地に立ち寄る滞在交流型旅行商品の商品数が増加している。
・遊びと学びの交流施設「くるんと」以外の施設（旧長井小学校、文教の杜、けん玉スパイク）の利用者数が増えている。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
官民連携による取組	公共複合施設整備市民検討委員会の実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた		交流施設の運営及び事業計画に関し、広く意見を反映することを目的に「長井市遊びと学びの交流施設運営協議会」を立ち上げる。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	まちづくりの住民参加 地域住民が主体的に協議会等を発足して目的を定め、精力的に活動を行っている。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	各協議会と市民の主体的な活動に任せ、市は後方支援に徹する。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2－2　地区の概要

長井駅前地区（山形県長井市）　都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標　みんなで創る　しあわせに暮らせるまち　長井　～人にぎわい　心かよう　水のふるさと　～ 目標1　未来を担う心豊かな子どもが育つまちづくり 目標2　健やかにいきいきと暮らせるまちづくり 目標3　資源を活かし活力を生み出すまちづくり	子育て世代活動支援センター年間利用者数	単位：人／年	7,550	H29	34,730	R5	189,203	R5
	図書館年間入館者数	単位：人／年	41,034	H29	73,861	R5	172,229	R5
	病院患者の年間紹介率	単位：%	30.9	H29	36.7	R5	34.7	R5
	中心市街地における歩行者通行量（休日）	単位：人／日	190.0	H29	437.0	R5	316.0	R5
	公共交通（鉄道及びバス）利用者数	単位：人／日	（鉄道）1,037.8 （バス）96.2	H29	（鉄道）976.4 （バス）90.2	R5	（鉄道）1,222.3 （バス）115.6	R5

■基幹事業
道路（凡例：　　）
・市道 本町西1号線･･･道路の新設　L=139m
・市道 長井駅前線･･･道路の新設、駅前広場取付　L=168m
・市道 西裏線･･･歩道整備　L=332m
・市道 本町東線･･･路面整備、消雪施設　L=310m

■基幹事業
地域生活基盤施設
・多目的広場･･･広場整備2箇所　A=2,053.1㎡、A=737.7㎡（凡例：　　）
・公開空地･･･都市計画道路糀町成田線沿線舗装　A=540㎡（凡例：　　）
・情報板･･･観光案内サイン、案内標識設置　N=14基　（凡例：　　）

■基幹事業
高質空間形成施設（凡例：　　）
・街路照明灯･･･市道 本町西1号線　N=3基
・街路照明灯･･･都市計画道路糀町成田線　N=32基
・歩行者支援施設･･･無散水消雪、歩廊　A=76.1㎡



■基幹事業
高次都市施設／誘導施設
（凡例：　　）
・子育て世代活動支援センター
（複合施設）
A=11,669.1㎡（敷地面積）
・教育文化施設
（図書館　複合施設）
A=11,664.3㎡（敷地面積）



■基幹事業
誘導施設
（凡例：　　）
・医療施設
（病院）
A=4,293㎡（床面積）



■基幹事業
高次都市施設／誘導施設
（凡例：　　）
・テレワーク拠点施設
（複合施設）
A=253.68㎡（敷地面積）
・社会福祉施設
（すみれ学園　複合施設）
A=1,196.56㎡（敷地面積）



□提案事業
事業活用調査
・事業効果分析調査
・西裏線利用促進活用調査
まちづくり活動推進事業
・賑わい創出事業（社会実験）長井駅前地区

○関連事業
・長井市新庁舎建設整備事業・・・A=17,300㎡（敷地面積）
・長井小学校第一校舎活用事業・・・A=2,303㎡（延床面積）
・糀町成田線街路整備事業・・・L=390m
・本町テナント整備事業
・本町青空フェスティバル事業
・長井市中心市街地にぎわい創出事業

まちの課題の変化

【達成されたこと（課題の改善状況）】
○遊びと学びの交流施設「くるんと」や多機能型事業所・相談支援事業所「長井市すみれ学園」の整備により子育て支援や子育て環境の改善が図られた。
○老朽化した公共施設「図書館」や「病院」などの再整備により施設が長寿命化、耐震化され維持管理費の縮減が図られた。
○地域の医療拠点として「公立置賜長井病院」が再整備されたことにより、市民の安心を支える地域医療の実現が図られた。
○融雪装置や街路灯の増設を行い道路環境の改善が図られ、長井駅前周辺に公共施設が再編され道路や駐車場が整備されこともあり公共交通利用者の増加に繋がった。
【残された未解決の課題】
○長寿命化、耐震化を図る必要のある老朽化した公共施設がまだ残されている。
○高齢者や児童の安全を確保するため整備が必要な道路がまだ多く残されている。

今後のまちづくりの方策（改善策を含む）

【効果を持続させるために行う方策】
○「くるんと」の利活用促進・維持管理　：　子育て支援や子育て環境のより一層の充実と、幅広い世代の市民生活の向上及び市内外の利用者が交流する場・機会の創出を図る。予約システムを介して長井市の情報提供を行う。
○「公立置賜長井病院」の利活用促進　：　地域包括支援センター支所、訪問看護ステーション及び地域在宅医療連携推進室と地域の医院等との情報共有や連携体制を充実させ、在宅医療への円滑な移行に取り組む。
○「長井市すみれ学園」の利活用促進　：　インクルーシブな教育や地域共生社会の実現を図るために重要な役割を果たす施設として、安心して子供を預けられる環境を整備・促進する。
○公共交通利用者の増進　：　交通利便性に優れている長井駅前周辺を中心に、山形鉄道フラワー長井線や山交バス、市営バスなど公共交通サービスの連携強化を図る。
【改善策】
○公共施設の長寿命化、耐震化　：　適切な時期に予防保全型の対応により長寿命化を図るとともに、施設によっては転用や移譲・廃止を検討したうえで、必要な施設については整備を行う。
○歩行者の安全を確保するための道路整備　：　歩道や道路の整備が不十分である箇所について、中、長期的な整備計画により改善を図る。
○まちなかの回遊機能の向上　：　「くるんと」の利用者をまちなかに促す方策を検討するとともに、歩行者にとって歩いてみたくなる道路や快適な店づくりや景観づくりへの取り組みを行う。

都市再生整備計画　事後評価シート
(添付書類)

(1) 成果の評価
- 添付様式1－①　都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1－②　都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加･削除を含む)
- 添付様式2－①　都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2－②　その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2－参考記述　定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価
- 添付様式3－①　モニタリングの実施状況
- 添付様式3－②　官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式3－③　持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理
- 添付様式4－①　効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4－②　数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4－③　数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成
- 添付様式5－①　今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5－②　まちの課題の変化
- 添付様式5－③　今後のまちづくり方策
- 添付様式5－参考記述　今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5－④　目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6　当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6－参考記述　今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表
- 添付様式7　事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議
- 添付様式8　評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取
- ~~添付様式9　有識者からの意見聴取~~

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		・中心市街地における歩行者通行量（休日）：401.1人/日	・中心市街地における歩行者通行量（休日）：437人/日	障害児、健常児に関わらずあらゆる世代が交流できる場を提供するため、新たに複合施設（社会福祉施設とテレワーク拠点施設）と多目的広場を整備することにより、まちなかの賑わいを促すものとなるため、数値目標を上方修正
D. その他（区域の拡大）		●			

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（事業の追加・削除を含む）

基幹事業

事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	道路整備（市道　本町西1号線）	270.7	130m	230.1	139m	事業進捗に伴う精査の結果、事業費の減、事業量の増	目標・数値指標への影響はなし	●	
	道路整備（市道　長井駅前線）	683.6	180m	688.1	168m	事業進捗に伴う精査の結果、事業費の増、事業量の減	目標・数値指標への影響はなし	●	
	道路整備（市道　西裏線）	105.8	220m	128.3	332m	事業進捗に伴う精査の結果、事業費及び事業量の増	目標・数値指標への影響はなし	●	
	道路整備（市道　本町東線）	48.0	310m	59.6	310m	建設資材の高騰に伴い事業費を増	目標・数値指標への影響はなし	●	
	案内標識（県道　長井停車場線外）	20.0	4基	0.0	-	道路事業から地域生活基盤施設事業（情報板）に振り替え	目標・数値指標への影響はなし	●	
公園									
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									

添付様式1－②　都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（事業の追加・削除を含む）

地域生活基盤施設	公開空地（都市計画道路　粡町成田線　沿道）	4.0	540㎡	3.9	540㎡	工事完成に伴い事業費を変更	目標・数値指標への影響はなし	●	
	情報板	7.0	3基	18.8	14基	道路事業（案内標識）からの振り替えや複合施設近辺に観光案内版を追加することに伴い事業費及び事業量を増	目標・数値指標への影響はなし	●	
	多目的広場	0.0	-	194.0	2,790.83㎡	まちなかに新たな賑わいづくりの場を創出するため事業を追加	まちなかの賑わいを促すものとなるため、中心市街地における歩行者通行量の数値目標を上方修正	●	
高質空間形成施設	緑化施設等　街路灯（市道本町西1号線）	10.1	5基	8.0	3基	資材の高騰や周辺住民等との意見も踏まえ事業費及び事業量を減	目標・数値指標への影響はなし	●	
	緑化施設等　街路灯（都市計画道路　粡町成田線）	31.4	20基	43.2	32基	粡町成田線街路整備事業との調整により事業費及び事業量を増	目標・数値指標への影響はなし	●	
	歩行者支援施設（融雪装置）	0.0	-	21.9	76.1㎡	複合施設の利便性の向上を図るため事業を追加	目標・数値指標への影響はなし	●	
高次都市施設	テレワーク拠点施設（複合施設）	0.0	-	35.4	253.68㎡	障害児、健常児に関わらずあらゆる世代が交流できる場を提供するため事業を追加	まちなかの賑わいを促すものとなるため、中心市街地における歩行者通行量の数値目標を上方修正	●	
	子育て世代活動支援センター（複合施設）	1,964.4	2,503㎡	2,098.6	11,669.1㎡	事業進捗に伴う精査の結果、事業費の増及び建物面積から敷地面積へ変更したことに伴う事業量の増	目標・数値指標への影響はなし	●	
誘導施設	医療施設（病院）	3,681.1	4,200㎡	3,992.1	4,293㎡	事業進捗に伴う精査の結果、事業費及び事業量の増	目標・数値指標への影響はなし	●	
	社会福祉施設（すみれ学園複合施設）	0.0	-	155.0	1,196.56㎡	障害児、健常児に関わらずあらゆる世代が交流できる場を提供するため事業を追加	まちなかの賑わいを促すものとなるため、中心市街地における歩行者通行量の数値目標を上方修正	●	
	教育文化施設（図書館　複合施設）	1,958.8	2,497㎡	2,097.7	11,664.3㎡	事業進捗に伴う精査の結果、事業費の増及び建物面積から敷地面積へ変更したことに伴う事業量の増	目標・数値指標への影響はなし	●	
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1－②　都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（事業の追加・削除を含む）

提案事業

事業	細項目	当初計画 事業費	当初計画 事業内容	最終変更計画 事業費	最終変更計画 事業内容	当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況 完成	事後評価時の完成状況 完成見込み
地域創造支援事業									
事業活用調査	事業効果分析調査	0.0	-	3.5	1式	都市再生整備計画事業等の事後評価が必要なため事業を追加	目標・数値指標への影響はなし	●	
	西裏線利用促進活用調査	0.0	-	2.0	1式	今後の活用を促進するための調査が必要なため事業を追加	目標・数値指標への影響はなし	●	
まちづくり活動推進事業	賑わい創出事業（社会実験）	0.0	-	1.6	1式	駅前周辺施設や商店街等と連携をして賑わいを創出するため事業を追加	まちなかの賑わいを促すものとなるため、中心市街地における歩行者通行量の数値目標を上方修正	●	

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

（参考）関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費 当初計画	事業費 最終変更計画	事業期間 当初計画	事業期間 最終変更計画	進捗状況及び所見	備考
長井市新庁舎建設整備事業		市庁舎	4,350.0	4,350.0	平成30年度～平成32年度	平成30年度～令和2年度	事業は完了している	
長井小学校第一校舎活用事業		長井小学校	882.0	882.0	平成28年度～平成30年度	平成28年度～平成30年度	事業は完了している	
桐町成田線街路整備事業		都市計画道路　桐町成田線	3,100.0	3,100.0	平成23年度～平成32年度	平成23年度～令和5年度	事業は完了している	
本町テナント整備事業		長井市本町	-	-	平成30年度	平成30年度	事業は完了している	
本町青空フェスティバル事業		長井市本町	-	-	平成11年度	平成11年度	事業は完了している	
長井市中心市街地にぎわい創出事業		長井市内	-	80.0	-	令和5年度～令和7年度	事業実施中	

添付様式2－①　都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標		単位	データの計測手法と評価値の求め方（時期、場所、実施主体、対象、具体手法等）	（参考）※1 計画以前の値（ア）	基準年度	従前値（イ）	基準年度	目標値（ウ）	目標年度	数値（エ）			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
															あり	なし
指標1	子育て世代活動支援センター年間利用者数	人/年	令和5年9月～令和6年8月1年間の「遊びと学びの交流施設くるんと（子育て世代活動支援センター）」の利用者数を調査し評価値とする。	-	-	7,550	H29	34,730	R5	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ● 見込み	189,203	事後評価	○		
指標2	図書館年間入館者数	人/年	令和5年9月～令和6年8月1年間の「遊びと学びの交流施設くるんと（長井市立図書館）」の利用者数を調査し評価値とする。	-	-	41,034	H29	73,861	R5	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ● 見込み	172,229	事後評価	○		
指標3	病院患者の年間紹介率	%	令和5年4月～令和6年3月1年間の（新）公立置賜長井病院の紹介患者数及び初診患者数を公立置賜長井病院に問い合わせ紹介率を求め評価値とする。	-	-	30.9	H29	36.7	R5	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ● 見込み	34.7	事後評価	△	●	
指標4	中心市街地における歩行者通行量（休日）	人/日	令和5年10月29日（休日）に中心市街地区域内3地点における歩行者通行量を計測した商工振興担当部署に問い合わせ把握し評価値とする。	-	-	190.0	H29	437.0	R5	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ● 見込み	316.0	事後評価	×		●
指標5	公共交通（鉄道及びバス）利用者数	人/日	令和5年度1年間の市内にある鉄道駅、及び市営バスの1年間の利用者数を公共交通担当部署に問い合わせ把握し、一日あたりの利用者数を求め評価値とする。	-	-	(鉄道)1,037.8 (バス)96.2	H29	(鉄道)976.4 (バス)90.2	R5	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ● 見込み	(鉄道)1,222.3 (バス)115.6	事後評価	○		

指標	目標達成度○△×の理由（達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む）	その他特記事項（指標計測上の問題点、課題等）
指標1	子育て世代活動支援センターと図書館の2つの機能を持つ複合施設として整備したことや、これまでにないオールシーズン遊べる屋内遊戯施設や一時預かり施設を整備したことにより、想定以上の利用者があった。	
指標2	図書館と子育て世代活動支援センターの2つの機能を持つ複合施設として整備したことや、地域と連携・協働しまちづくりにつながる交流の拠点となるように多機能型図書館として整備したことにより、想定以上の利用者があった。	
指標3	地域の医院等からの紹介を受ける病院として貢献することを目標として紹介率の増加を目指したが、目標値にわずかに及ばず達成することはできなかった。今後は地域医師会との連携強化を図り紹介率の増加を目指す。	
指標4	公共複合施設整備事業や長井小学校第一校舎整備事業の効果により、観光客数や各施設の来館者数の増加に繋げることができたが、車による移動が大半であり、中心市街地への歩行による誘導や回遊には繋げられず目標を達成することはできなかった。	
指標5	長井駅前で行われた公共複合施設整備事業や新たな道路と駐車場の整備により、長井駅における鉄道とバスの利用環境が改善したことや、まちなか循環バスの休日運行や遊びと学びの交流施設周辺での定期的なイベント等により、想定以上の利用者があった。	

※1　計画以前の値　とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。
※2　目標達成度の記入方法
○：評価値が目標値を上回った場合
△：評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
×：評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2－②　その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

指　標		単位	データの計測手法と評価値の求め方（時期、場所、実施主体、対象、具体手法等）	（参考）※1 計画以前の値（ア）	基準年度	従前値（イ）	基準年度	数値（ウ）				本指標を取り上げる理由	その他特記事項（指標計測上の問題点、課題等）
その他の数値指標1	要介護（要支援）認定者数	人	市の要介護（要支援）認定者数の推移を計測している介護保険事業担当部署に問い合わせ把握する。	-	-	1,619	H29	モニタリング				新たに整備された公立置賜長井病院を中心とした介護予防等の取り組みにより要介護（要支援）認定者数は減少している。	指標3を補完して、地域の医療・福祉施設との連携強化状況を説明する。
								事後評価	確定	●	1,577		
									見込み				
その他の数値指標2	中心市街地の現状への満足度：中心市街地に住んでみたい（住み続けたい）と思う人の割合	%	市の中心市街地活性化に関する市民アンケートを実施している担当部署に問い合わせ把握する。	-	-	23.1	H30	モニタリング				中心市街地における各種安全施設・利便施設の整備により、現状への満足度や更なる活性化を期待する潜在的な意識が増えている。	指標4を補完して、中心市街地の安全性・利便性の向上及びにぎわいの創出状況を説明する。
								事後評価	確定	●	27.6		
									見込み				
				-	-			モニタリング					
								事後評価	確定				
									見込み				

※1　計画以前の値　とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。

添付様式2－参考記述　定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・市の重要事業の推進に向け、テーマごとに市職員と市民の協働によるプロジェクトが立ち上がり、市民参加型のまちづくりが進んでいる。
・「マイロードサポート事業」として国道や県道の清掃作業、植栽（花のまちづくり推進事業）に取り組む住民や団体が増えている。
・中心市街地の空き店舗等を活用して新たな事業を取り組む事業主が増えている。
・中心市街地に立ち寄る滞在交流型旅行商品の商品数が増加している。
・遊びと学びの交流施設「くるんと」以外の施設（旧長井小学校、文教の杜、けん玉スパイク）の利用者数が増えている。

（2）実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式３－①　モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			

添付様式３－②　官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
公共複合施設整備市民検討委員会の実施	予定どおり実施した		【実施頻度】計8回 【実施時期】令和3年度～令和5年度 【実施結果】子育て世代活動支援センターと図書館の2つの機能を持つ遊びと学びの交流施設の整備を進めるにあたり、市民の方々から意見をいただき検討を重ねたことにより想定を上回る利用者が来館している。	交流施設の運営及び事業計画に関し、広く意見を反映することを目的に立ち上げた「長井市遊びと学びの交流施設運営協議会」を定期的に開催する。
	予定はなかったが実施した	●		
	予定したが実施できなかった (理由　　)			

添付様式３－③　持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			ⅰ．体制構築に向けた取組内容	ⅱ．まちづくり組織名：組織の概要	
まちづくりの住民参加 地域住民が主体的に協議会等を発足して目的を定め、精力的に活動を行っている。	予定どおり実施した	●	各まちづくり協議会と市が定期的に意見交換を行った。 まちづくり協議会の中で、部会制を新たに構築し、部会ごとに詳細な議論を重ねることができた。	「本町・中央まちづくり協議会」 「長井市宮・小桜街区まちづくり協議会」 「長井駅前通りまちづくり協議会」 「かわまちづくり推進協議会」 「俺たちの株式会社楽街」	各協議会と市民の主体的な活動に任せ、市は後方支援に徹する。
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由　　)				

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事業事後評価庁内検討チーム	総合政策課、総務課、財政課、地域づくり推進課、健康スポーツ課、福祉あんしん課、子育て推進課、農林課、商工振興課、新産業団地整備課、観光文化交流課、建設課、上下水道課、教育総務課、学校教育課	第1回　令和6年10月31日	建設課（都市再生整備計画担当課）

添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理【1/2】

指標の種別		指標1		指標2		指標3		指標5	
指　標　名		子育て世代活動支援センター年間利用者数		図書館年間入館者数		病院患者の年間紹介率		公共交通（鉄道及びバス）利用者数	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路　道路整備（市道　本町西1号線、長井駅前線、西裏線、本町東線）	○	子育て世代の意見や要望を聞き検討を重ね、子育て支援センターや乳幼児の一時預かり機能、オールシーズン利用できる屋内遊戯場を整備したことにより、多くの利用が図られた。また市内だけでなく市外からの利用者が想定以上に多く大幅な増加となった。	○	様々なニーズに応えられる多機能型図書館を新しく整備したことにより、多世代の方が施設を訪れサードプレイス（第3の居場所）としても利用される方が大幅に増えた。また、子育て世代活動支援センターを目的に来られた親子連れも図書に触れる機会が多くなり利用者の増加につながった。	－	公立置賜総合病院のサテライト医療施設としての役割を果たし、地域医療を担うための機能を併せて整備したことにより、地域の医院や介護事業との連携が強化され紹介率が増えた。	○	長井駅前周辺に公共施設を再編したことに加え、新たな道路と駐車場を整備したことにより鉄道とバスの利用環境が改善され、また、長井駅周辺施設での定期的なイベントの開催などにより想定以上に利用者が増えた。
	地域生活基盤施設　公開空地（都市計画道路　桐町成田線　沿道）	－		－		－		－	
	地域生活基盤施設　情報板	－		－		－		－	
	地域生活基盤施設　多目的広場	－		－		－		－	
	高質空間形成施設　緑化施設等　街路灯（市道　本町西1号線）	－		－		－		－	
	高質空間形成施設　緑化施設等　街路灯（都市計画道路　桐町成田線）	－		－		－		－	
	高質空間形成施設　歩行者支援施設（融雪装置）	○		○		－		－	
	高次都市施設　テレワーク拠点施設（複合施設）	－		－		－		○	
	高次都市施設　子育て世代活動支援センター（複合施設）	◎		◎		－		◎	
	誘導施設　医療施設（病院）	－		－		◎		○	
	誘導施設　社会福祉施設（すみれ学園　複合施設）	－		－		－		○	
	誘導施設　教育文化施設（図書館　複合施設）	◎		◎		－		◎	
提案事業	事業効果分析調査	－		－		－		－	
	西裏線利用促進活用調査	○		○		－		○	
	賑わい創出事業（社会実験）	○		○		－		○	
関連事業	長井市新庁舎建設整備事業	○		○		－		◎	
	長井小学校第一校舎活用事業	－		－		－		○	
	桐町成田線街路整備事業	－		－		－		－	
	本町テナント整備事業	－		－		－		－	
	本町青空フェスティバル事業	○		○		－		○	
	長井市中心市街地にぎわい創出事業	○		○		－		○	
今後の活用		利用者の意見・要望を反映しながら交流施設を運営し、更なるにぎわい創出と利用促進を図る。		子育て世代活動支援センターとのさらなる機能連携を強化し、双方の利用者増加による相乗効果を図る。		地域の医院等との情報共有や連携体制を充実させ、医療と介護の連携を推進し紹介率の増加を目指す。		バスの運行本数や運行路線の見直し検討を行い利用者の利便性向上を図る。	

※指標改善への貢献度

◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

添付様式4－②　数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理【2/2】

指標の種別		その他の数値指標1		その他の数値指標2					
指　標　名		要介護（要支援）認定者数		中心市街地の現状への満足度：中心市街地に住んでみたい（住み続けたい）と思う人の割合					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路　道路整備（市道　本町西1号線、長井駅前線、西裏線、本町東線）	―	地域の医療拠点として「公立置賜長井病院」が再整備されたことにより、安心して暮らせる医療体制が確保され、また、病院を中心とした介護予防等の取り組みにより要介護（要支援）認定者数が減少している。	○	遊びと学びの交流施設「くるんと」や地域医療の拠点施設「公立置賜長井病院」などが整備され、中心市街地の活性化や安心して住み続けられる医療施設の改善が図られ中心市街地に対する満足度が増えている。				
	地域生活基盤施設　公開空地（都市計画道路　桐町成田線　沿道）	―		○					
	地域生活基盤施設　情報板	―		○					
	地域生活基盤施設　多目的広場	―		○					
	高質空間形成施設　緑化施設等　街路灯（市道　本町西1号線）	―		○					
	高質空間形成施設　緑化施設等　街路灯（都市計画道路　桐町成田線）	―		○					
	高質空間形成施設　歩行者支援施設（融雪装置）	―		○					
	高次都市施設　テレワーク拠点施設（複合施設）	―		○					
	高次都市施設　子育て世代活動支援センター（複合施設）	―		◎					
	誘導施設　医療施設（病院）	◎		◎					
	誘導施設　社会福祉施設（すみれ学園　複合施設）	―		○					
	誘導施設　教育文化施設（図書館　複合施設）	―		◎					
提案事業	事業効果分析調査	―		―					
	西裏線利用促進活用調査	―		―					
	賑わい創出事業（社会実験）	―		○					
関連事業	長井市新庁舎建設整備事業	―		◎					
	長井小学校第一校舎活用事業	―		◎					
	桐町成田線街路整備事業	―		○					
	本町テナント整備事業	―		○					
	本町青空フェスティバル事業	―		○					
	長井市中心市街地にぎわい創出事業	―		○					
今後の活用		高齢者が安心して在宅生活を送ることができるよう、医療と介護の連携体制を強化し、地域包括ケアシステムの推進を図る。		中心市街地において更なる利便施設や安全施設の整備を行い、まちの魅力を高めていく。					

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

添付様式4－③　数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別	指標4										
指　標　名	中心市街地における歩行者通行量（休日）										

種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路　道路整備（市道　本町西1号線、長井駅前線、西裏線、本町東線）	－	遊びと学びの交流施設「くるんと」や長井小学校第一校舎などの整備効果により、各施設の来館者数は増加したが、車による移動が大半であり、中心市街地への歩行による誘導や回遊に繋げられず目標を達成することができなかった。	Ⅰ									
	地域生活基盤施設　公開空地（都市計画道路　粡町成田線　沿道）	－											
	地域生活基盤施設　情報板	－											
	地域生活基盤施設　多目的広場	－											
	高質空間形成施設　緑化施設等　街路灯（市道　本町西1号線）	－											
	高質空間形成施設　緑化施設等　街路灯（都市計画道路　粡町成田線）	－											
	高質空間形成施設　歩行者支援施設（融雪装置）	－											
	高次都市施設　テレワーク拠点施設（複合施設）	△											
	高次都市施設　子育て世代活動支援センター（複合施設）	△											
	誘導施設　医療施設（病院）	－											
	誘導施設　社会福祉施設（すみれ学園　複合施設）	△											
	誘導施設　教育文化施設（図書館　複合施設）	△											
提案事業	事業効果分析調査	－											
	西裏線利用促進活用調査	－											
	賑わい創出事業（社会実験）	－											
関連事業	長井市新庁舎建設整備事業	△											
	長井小学校第一校舎活用事業	×											
	粡町成田線街路整備事業	△											
	本町テナント整備事業	－											
	本町青空フェスティバル事業	－											
	長井市中心市街地にぎわい創出事業	－											

※目標未達成への影響度
××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
△：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類
分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針（記入は必須）	各施設の来館者を中心市街地へ歩行による誘導や回遊に繋げるための事業や施策の検討を行う。				

（4）今後のまちづくり方策の作成

添付様式5－①　今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事業事後評価庁内検討チーム	総合政策課、総務課、財政課、地域づくり推進課、健康スポーツ課、福祉あんしん課、子育て推進課、農林課、商工振興課、新産業団地整備課、観光文化交流課、建設課、上下水道課、教育総務課、学校教育課	第1回　令和6年10月31日	建設課（都市再生整備計画担当課）

添付様式5－②　まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載したまちの課題	達成されたこと（課題の改善状況）	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
安心して子どもを産み育てるために必要な都市機能の不足	遊びと学びの交流施設「くるんと」や多機能型事業所・相談支援事業所「長井市すみれ学園」の整備により子育て支援や子育て環境の改善が図られた。		・遊びと学びの交流施設「くるんと」の来館者が施設周辺で利用できる飲食店が不足している。 ・くるんとや長井小学校第一校舎、道の駅かわのみなと長井など集客施設からまちなかへ誘導する回遊機能の向上を図る必要がある。
老朽化した公共施設の維持管理費の増大と更新に要する財源の不足	老朽化した公共施設「図書館」や「病院」などの再整備により施設が長寿命化、耐震化され維持管理費の縮減が図られた。	長寿命化、耐震化を図る必要のある老朽化した公共施設がまだ残されている。	
将来にわたり安心して住み続けられる医療連携施設の不足	地域の医療拠点として「公立置賜長井病院」が再整備されたことにより、市民の安心を支える地域医療の実現が図られた。		
高齢者や児童が安全に歩行することができない道路整備状況	融雪装置や街路灯の増設を行い道路環境の改善が図られ、長井駅前周辺に公共施設が再編され道路や駐車場が整備されこともあり公共交通利用者の増加に繋がった。	高齢者や児童の安全を確保するため整備が必要な道路がまだ多く残されている。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5－③　今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるために行う方策	「くるんと」の利活用促進・維持管理	子育て支援や子育て環境のより一層の充実と、幅広い世代の市民生活の向上及び市内外の利用者が交流する場・機会の創出を図る。予約システムを介して長井市の情報提供を行う。	「くるんと」を活用したイベントの企画、「くるんと」周辺における飲食店（キッチンカーやマルシェ等）の出店支援
	「公立置賜長井病院」の利活用促進	地域包括支援センター支所、訪問看護ステーション及び地域在宅医療連携推進室と地域の医院等との情報共有や連携体制を充実させ、在宅医療への円滑な移行に取り組む。	多職種合同による研修会の開催、多職種連携システム「ほっとネット」の推進
	「長井市すみれ学園」の利活用促進	インクルーシブな教育や地域共生社会の実現を図るために重要な役割を果たす施設として、安心して子供を預けられる環境を整備・促進する。	テレワーク拠点施設の活用
	公共交通利用者の増進	交通利便性に優れている長井駅前周辺を中心に、山形鉄道フラワー長井線や山交バス、市営バスなど公共交通サービスの連携強化を図る。	市営バスの機能強化、まちなかのイベント開催、市庁舎内市民交流スペースの活用

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改　善　策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	公共施設の長寿命化、耐震化	適切な時期に予防保全型の対応により長寿命化を図るとともに、施設によっては転用や移譲・廃止を検討したうえで、必要な施設については整備を行う。	PPP/PFIなど民間活力を活用した整備
	歩行者の安全を確保するための道路整備	歩道や道路の整備が不十分である箇所について、中、長期的な整備計画により改善を図る。	融雪装置や街路灯の増設、都市計画道路の整備
	まちなかの回遊機能の向上	「くるんと」の利用者をまちなかに促す方策を検討するとともに、歩行者にとって歩いてみたくなる道路や快適な店づくりや景観づくりへの取り組みを行う。	空き地・空き店舗対策、観光ボランティアガイド、やまがたアルカディア観光局による誘客、観光資源のPR

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5－③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。（チェック欄）

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
●	事業の実施過程の評価（添付様式3）を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式4－②）を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式4－③）を再確認した。
●	残された課題や新たな課題（添付様式5－②）を再確認した。

添付様式5－参考記述　今後のまちづくり方策に関するその他の意見

・人口減少や少子高齢化の進行、中心市街地における空き地・空き家等の増加などの都市課題を解決する必要がある。
・今後も持続可能なまちづくりを実現するため、「くるんと」を核とした中心市街地において、有効的な土地利用の推進を図る必要がある。
・都市機能の低下を防ぐため、空き店舗や空き地の有効活用を促進するため、まちづくり会社の機能を強化する必要がある。そのため、次世代の若者が活躍できる組織づくりを進め、民間の活力を引き出すソフト事業を行い、魅力ある街を形成し、回遊することが楽しいまちづくりを進める。

添付様式5－④　目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2－①、2－②に記載した全ての指標について記入して下さい。
・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2－①、2－②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値	年度	目標値	年度	評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
													予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	子育て世代活動支援センター年間利用者数	人/年	7,550	H29	34,730	R5	確定	●	189,203	○	あり		―	―	
							見込み				なし				
指標2	図書館年間入館者数	人/年	41,034	H29	73,861	R5	確定	●	172,229	○	あり		―	―	
							見込み				なし				
指標3	病院患者の年間紹介率	%	30.9	H29	36.7	R5	確定	●	34.7	△	あり	●	令和7年6月	令和6年4月～令和7年3月1年間の（新）公立置賜長井病院の紹介患者数及び初診患者数を公立置賜長井病院に問い合わせ紹介率を求める。	
							見込み				なし				
指標4	中心市街地における歩行者通行量（休日）	人/日	190.0	H29	437.0	R5	確定	●	316.0	×	あり		令和7年4月	令和6年度に実施予定の中心市街地区域内3地点（長井郵便局前、山形中央信用組合前、観光交流センター前）における歩行者通行量を計測した商工振興担当部署に問い合わせ把握する。	令和6年度の計測結果が把握出来次第実施
							見込み				なし	●			
指標5	公共交通（鉄道及びバス）利用者数	人/日	(鉄道)1,037.8 (バス)96.2	H29	(鉄道)976.4 (バス)90.2	R5	確定	●	(鉄道)1,222.3 (バス)115.6	○	あり		―	―	
							見込み				なし				
その他の数値指標1	要介護（要支援）認定者数	人	1,619	H29			確定	●	1,577				―	―	
							見込み								
その他の数値指標2	中心市街地の現状への満足度：中心市街地に住んでみたい（住み続けたい）と思う人の割合	%	23.1	H30			確定	●	27.6				―	―	
							見込み								
その他の数値指標3							確定								
							見込み								

添付様式6　当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		指標の推計にあたっては、過大な設定とならないようにする必要がある。
	うまく いかなかった点	指標4「中心市街地における歩行者通行量（休日）」の推計において、各整備事業の効果により予測値の積み上げを行ったが、観測地点（3箇所）への配分が難しくやや過大な設定となってしまった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	遊びと学びの交流施設「くるんと」の整備にあたり公共複合施設整備市民検討委員会を設置したことにより、市民に開かれた協議・検討を実施することができた。	市民の意見を広く聞き、事業に反映していくことは事業への理解を深めるために有効である。
	うまく いかなかった点		
ＰＤＣＡによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述　今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称（当該地区の次期計画も含む）

・今後の都市再生整備計画事業の活用予定
令和7年度からまちなかウォーカブル・居住環境推進地区において都市再生整備計画事業の活用を検討している。

・今後、事後評価を予定する地区
本市においては、令和9年度に長井南産業団地周辺地区において事後評価の実施を予定している。当地区の事後評価の経験を踏まえて、効果的・効率的に事後評価を実施したい。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7　事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間･公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページへの掲載により公表	令和6年11月12日から 令和6年12月16日まで	令和6年11月12日から 令和6年12月16日まで	担当課への 窓口提出、郵送、FAX、電子メール	建設課 (都市再生整備計画事業担当課)
広報掲載･回覧･個別配布	広報に市のホームページで原案を公表している旨を掲載	令和6年11月発行	令和6年11月12日から 令和6年12月16日まで		
説明会･ワークショップ	-	-	-		
その他	窓口供覧 (建設課)	令和6年11月12日から 令和6年12月16日まで	令和6年11月12日から 令和6年12月16日まで		

住民の意見	･長井市は国の補助を上手に活用して事業を行っている。借金をしてと悪く言う人もいるが、必要なハード整備であり後世に残る素晴らしいまちづくりができていると思う。 ･庁舎と駅が一体化され、隣接に子育て施設と図書館もでき駅前がとても魅力的な空間になっておりうれしく思う。また、最近ではくるんと周辺でさまざまなイベントも行われており、にぎわいが生まれつつあると思う。今後も、まちなかウォーカブルという視点から歩きたくなるまちづくりを進めてもらいたい。 ･長井海田線の街路整備について事業認可されラウンドアバウトの整備も決まり、これから駅前通りがどのように変わっていくのか楽しみであるが、民間だけでは難しいところも多い。また国などの補助を活用して賑わいのあるまちづくりをしていってほしい。 ･市役所が長井駅に移転し、長井駅も新しくなりくるんとも出来て中高生も高齢者も気軽に交流できる居場所が増えた。これを起爆剤に民間の方にも頑張っていただいて中心市街地に集客していってもらいたい。 ･くるんとが出来て、週末は市外からの子連れの来訪者がかなり増え、県外ナンバーも多く見かけている。くるんとを核として長井市を知ってもらい、長井市に何度も足を運んでもらい、移住に繋げられるよう魅力を発信していってもらいたい。

(6) 評価委員会の審議

添付様式8　評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	加藤　俊昭　山形工科短期大学校　住居環境科特任教授 小幡　知之　山形工科短期大学校　住居環境科教授（欠席）	令和6年12月23日	建設課 （都市再生整備計画担当課）	長井市都市再生整備計画検討委員会設置要綱	既存組織（長井市都市再生整備計画検討委員会）そのものを位置づけ。
その他の委員	長井地区長連合会　会長 長井商工会議所女性会　会長 長井商工会議所青年部会　会長 長井商工会議所工業部会　会長 長井市かわまちづくり推進協議会　会長 長井市宅地開発事業計画検討委員会　副委員長 長井市景観審議会　委員				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従い事後評価が実施されていることに対する意見は特になし。
	成果の評価	・指標4中心市街地における歩行者通行量に関して、そもそも計画値を決めた時に具体的な計画はあったのか？その時に決めた活動がどうだったのか、その反省がないといけない。やったことに対して結果がどうであったのかを次の計画に反映させることがPDCAを回すことだと思うが、プランがどうでどういう実行をした結果どうなったのかっというところがよく見えない。 →当初のプランとしてまちなか活性化事業補助金の制度があったが結果が思わしくなかったため、現在にぎわい創出事業などにより取り組んでいる状況である。 ・中心市街地に行って何をして欲しいのか？買い物なのか、散策なのか。くるんとに来た人が中心市街地に行ってくれないというのは何を目的に来た人を求めているのか？ →まちなかの経済活性化を目標としている。そのため歩く人を多くしたいということである。
	実施過程の評価	・住民参加プロセスの実施状況、持続的なまちづくり体制の構築状況に対する意見は特になし。
	効果発現要因の整理	・指標1子育て支援センター年間利用者数に関して、市内外の内訳は把握できているのか？分かっているのであれば詳しい分析ができると思う。引き続きリピーターを離さないような施設運営、イベントなどを行ってまちなかの方へにぎわいを誘導してしていければと思う。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案の公表は妥当であることが確認された。
	その他	・遊びと学びの交流施設くるんとに関して、図書館に高校生の利用者が多く非常に驚いている。高校生が活性化に大いに役立っている現実がある。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であることが確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・くるんと内にまちの案内をぜひ整備して欲しい。長井にはどういうものがあるのか興味をそそるような、まちなかに誘導されるようなものを整備いただきたい。 ・まちなかを活性化させていくためには民間の方の協力が必要になってくる。行政側として民間の方が何を欲しがっているのかを把握して情報やデータを提供できればもっと良くなると思う。
	フォローアップ	・フォローアップ計画に対する意見は特になし。
	その他	・事業の検証をしっかり行って、お金だけ使って終わりとならないようにきちんとフォローをお願いしたい。 ・若い人たちにまちづくりの思いを伝えて、行政とか市民とかということではなくみんなで努力していかなければならないと思った。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策の内容は妥当であることが確認された。
その他		・特になし

※1　審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。